

CentOSのインストール①



インストールディスク用意

インターネット上からCentOSのisoイメージをダウンロードして、DVDディスクを作成する。

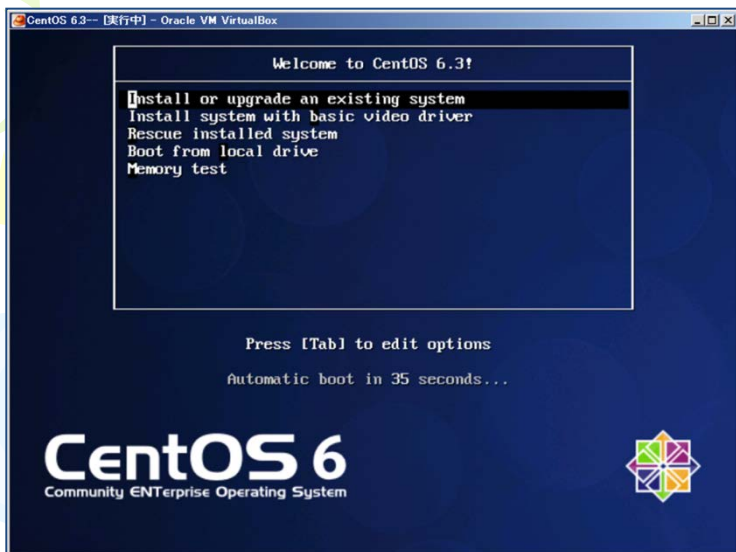
インストール開始

パソコンの起動をDVDドライブから（BIOSの確認）、DVDディスクを入れて電源を入れなおす（再起動する）。

DVDドライブから起動。（パソコンのBIOSバイオスをDVDドライブからブートするように優先順位を確認する。

基本の順位は、1:フロッピー → 2:CD・DVDドライブ → 3:ハードディスク）。

インストール

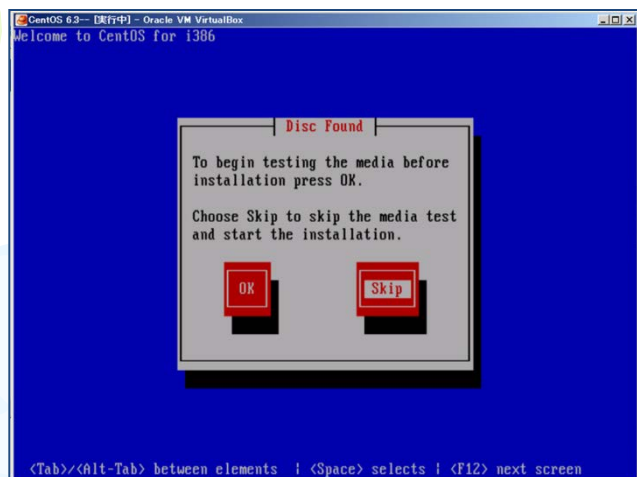


Install or upgrade an existing system

が自動的に選択されているので、エンターキーを押すと次へ進む

押さなくても時間がたてば次へ進む

インストール



Disc Found
の画面では

[矢印キー・Tabキー]

を使って [skip] にカーソルを移動させ、 [Enter] キーを押し次へ進む

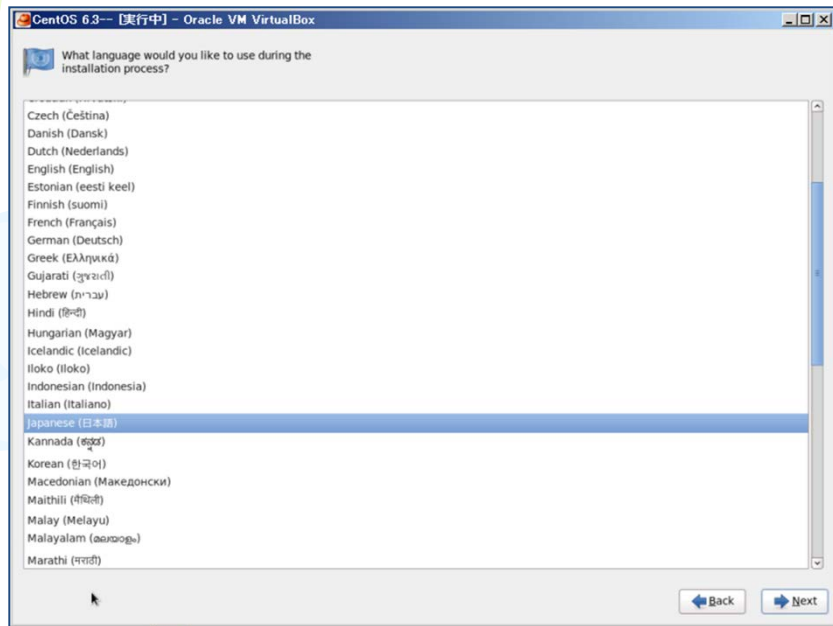
インストール



CentOS6インストール
開始前画面

画面が表示されたら
[Next] をクリック

インストール



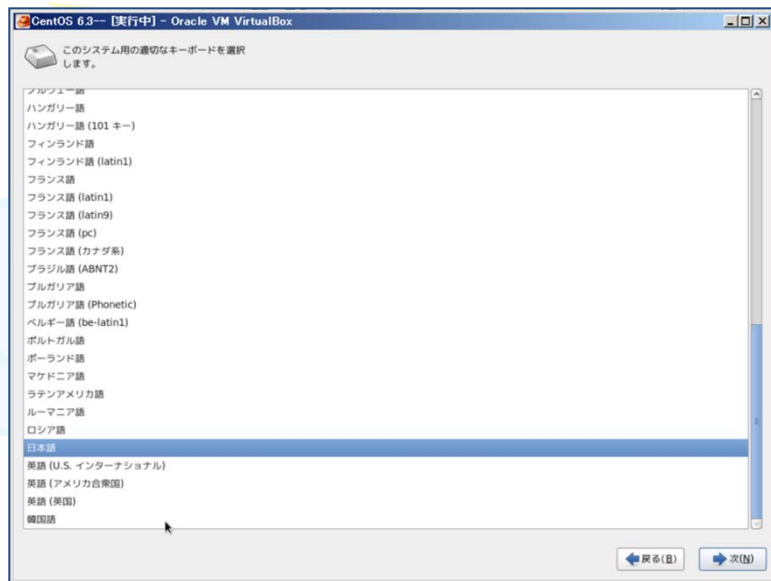
<言語の選択>

スクロールして
[japanese(日本語)]
を選択、

[Next] をクリック

インストール

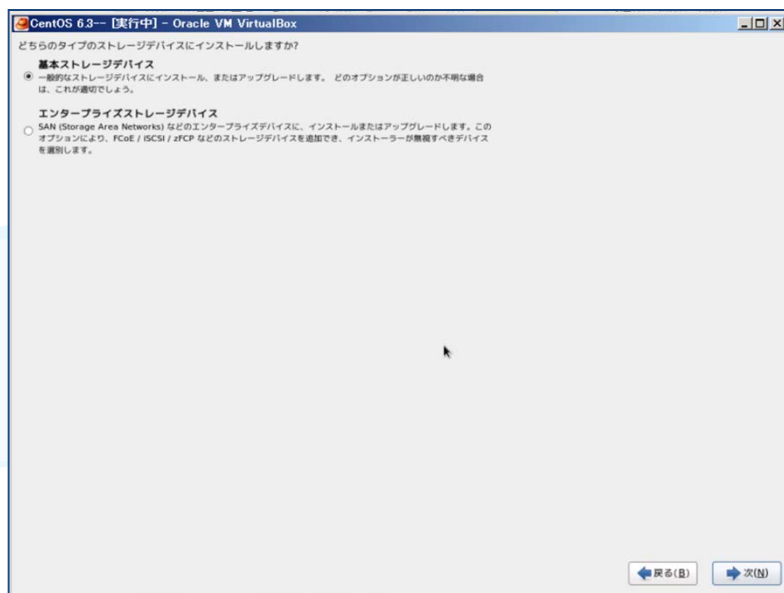
<キーボード>



日本語用を選択(106
か109日本語キーボード
を選択。標準で選択
されているもの)

[次] をクリック

インストール

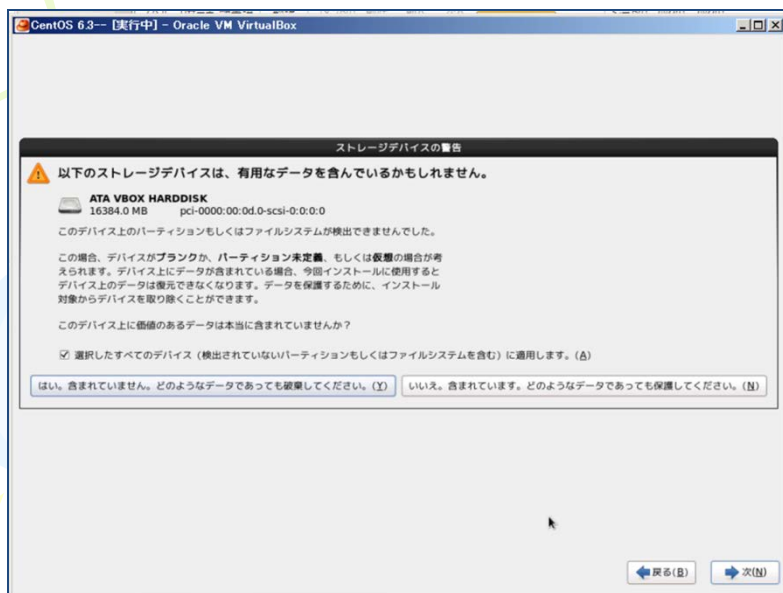


＜ストレージデバイスの選択＞

基本ストレージデバイスを選択する

[次]をクリック

インストール



インストールするストレージデバイスを聞いてくるので、
はい、含まれていません。
.....

をクリックする。指定のデバイスはすべて削除され、CentOS6.xがインストールされる
[次] をクリック

インストール

ホスト名を入力する。そのままでもあとから変更できる。ネットワークの設定も変更可能。そのままでも後から変更できる

ネットワークの設定をクリックすると、次ページのようなウィンドウが現れる

[次] をクリック



インストール

今回は有線で設定するので、有線タブの設定を編集する。該当のハードウェアを選択して、編集ボタンをクリック。

[自動接続する]

にチェックを入れて適用ボタンをクリックすると、ネットワークに自動的に接続できる。

デフォルトはDHCP(ネットワーク設定を自動取得)

固定アドレスを入力する場合は(サーバとして設定する場合はほとんどの場合固定でアドレスを設定する)

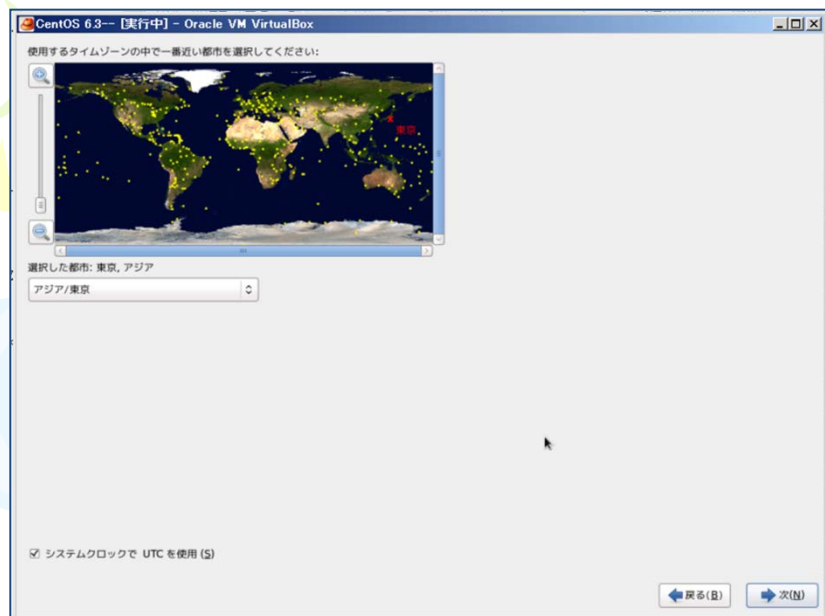
IPv4タブから、

[IPアドレス] [ネットマスク] を設定 ……実習時はDHCPを選択

固定アドレスにする場合は設定の [ゲートウェイ] [DNS] などを入力

[適用] をクリック

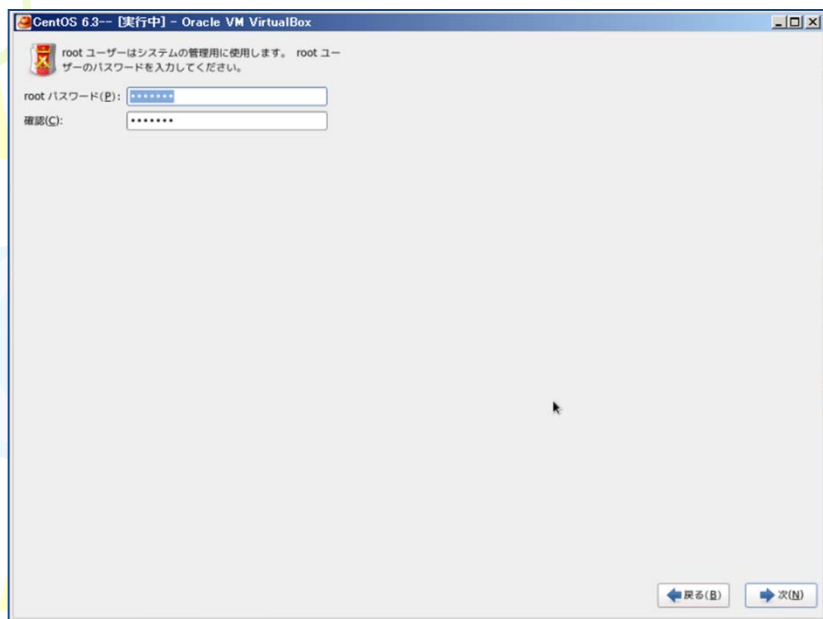
インストール



<タイムゾーン>
タイムゾーンは迷わず
[アジア/東京]
を選択確認

[次] をクリック

インストール



<rootパスワードの設定>

あらかじめ決めておいた root パスワードを2回入力。

実習では library に設定

[次] をクリック

インストール

上記のようなパスワードは基本、本番環境では避ける方が望ましいが、実習環境だと、

[とにかく使用する]



を選択して使うことも可能。

インストール

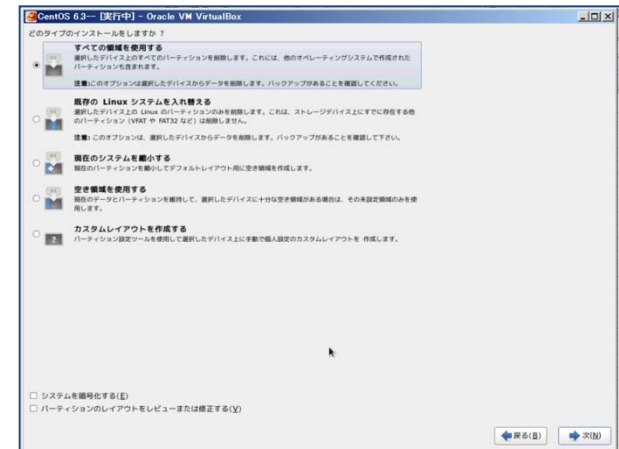
＜インストールの確認画面＞

どのタイプのインストールを行うか、確認画面が表示されるので、

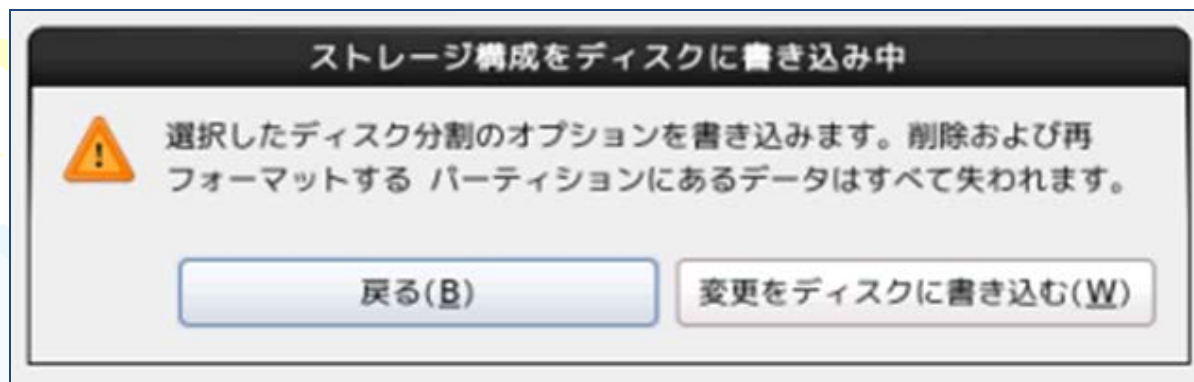
[すべての領域を使用する]

を選択、ラジオボタンにチェックを入れる

[次]をクリック



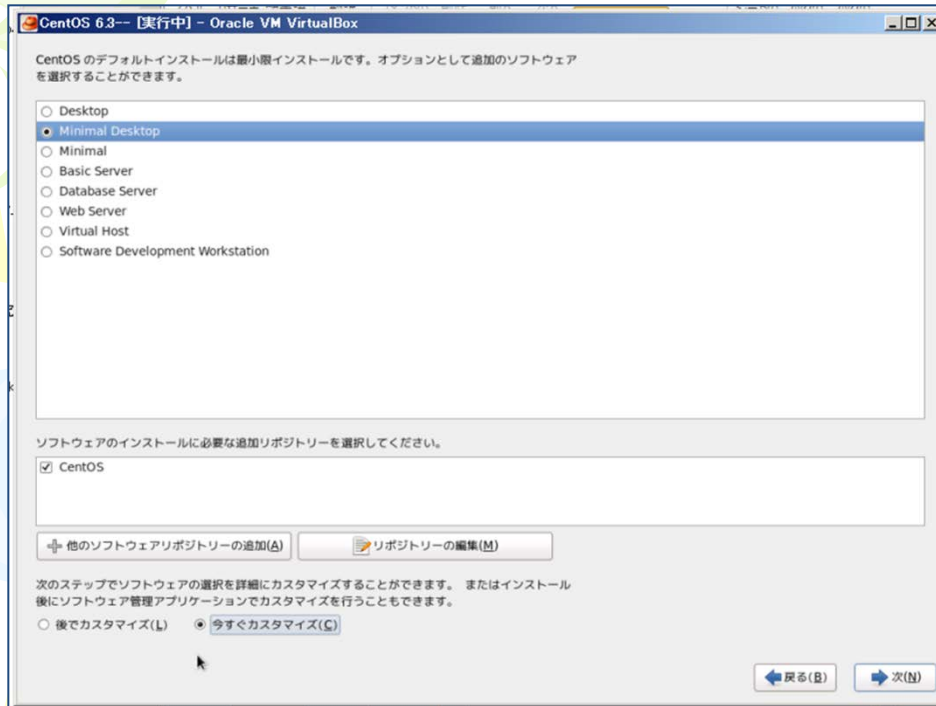
インストール



書き込み確認ウィンドウが表示されるので、大丈夫な場合は、

[変更をディスクに書き込む]
をクリックする。

インストール

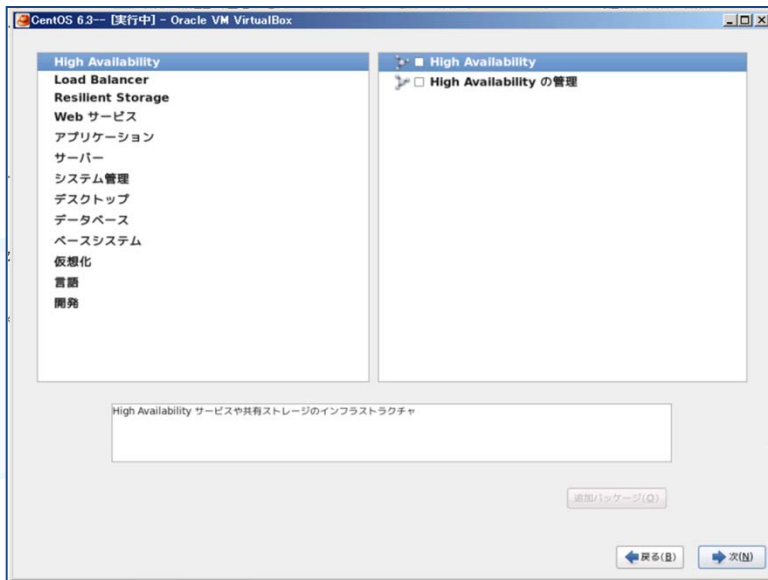


＜インストールパッケージの選択＞

[Minimal Desktop]
にチェックを入れる
[今すぐカスタマイズ]
にチェックを入れる

「次」をクリックすると、インストール詳細が表示される。

インストール

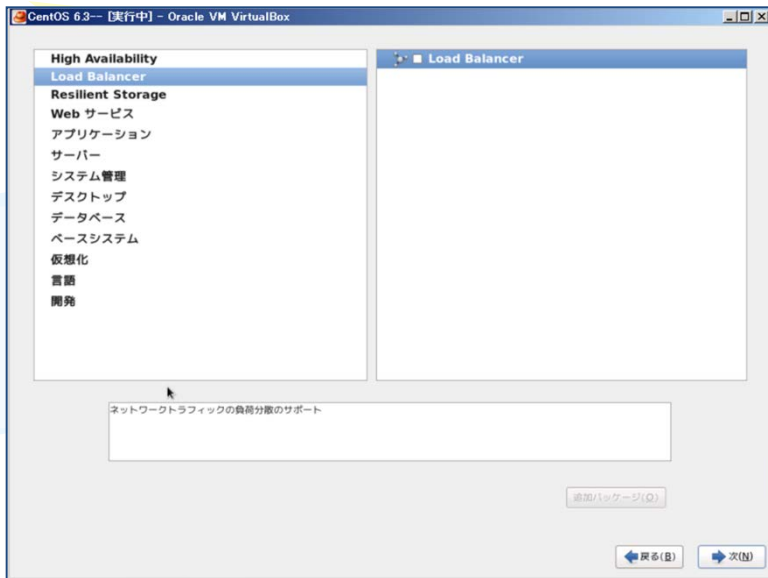


<High availability>

チェックを入れない

[次]をクリック

インストール

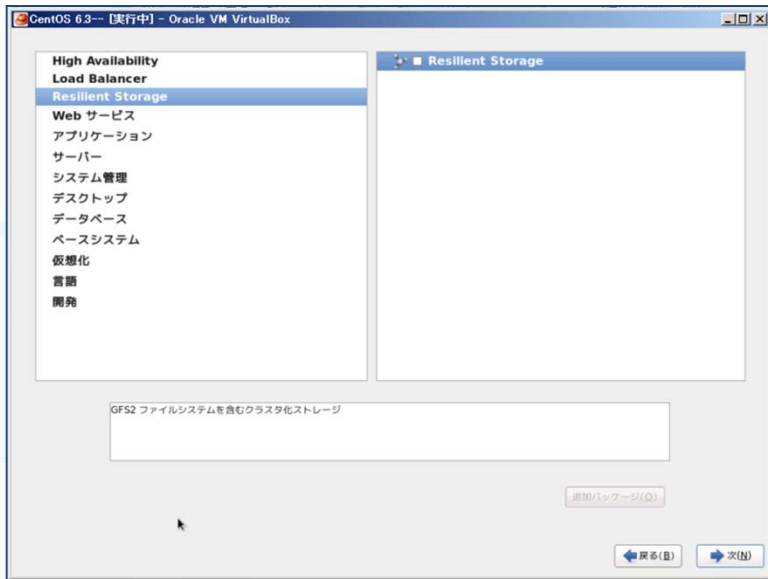


<Load Balancer>

チェックを入れない

[次]をクリック

インストール



< Resilient storage >

チェックを入れない

[次]をクリック

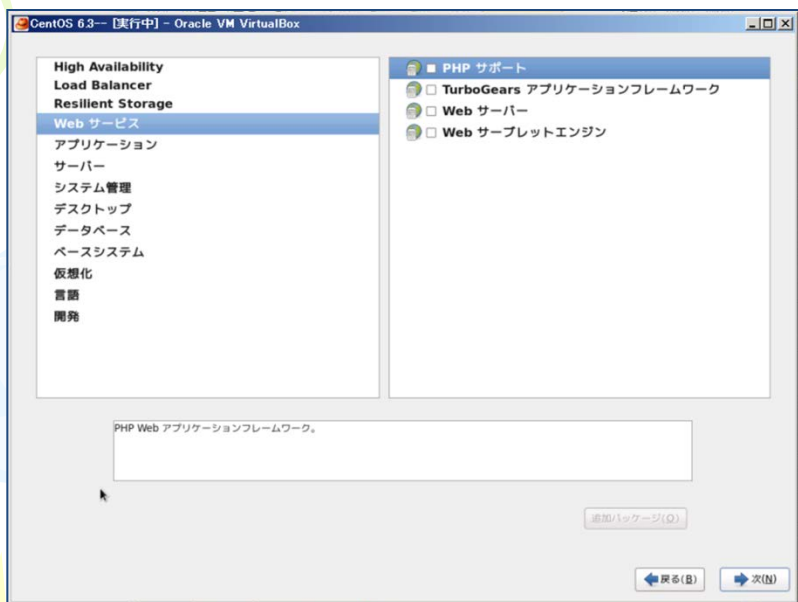
インストール

<Webサービス>

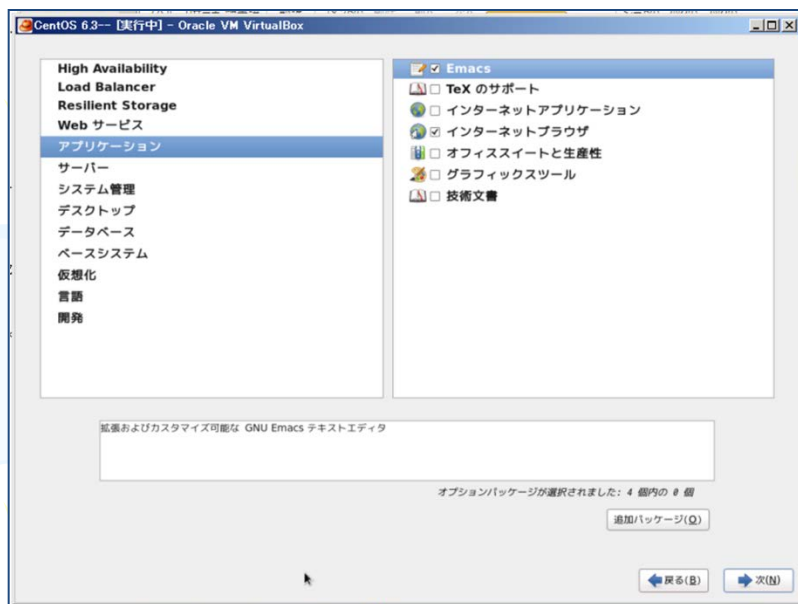
チェックを入れない

必要なサービスはあとからインストールする

[次]をクリック



インストール

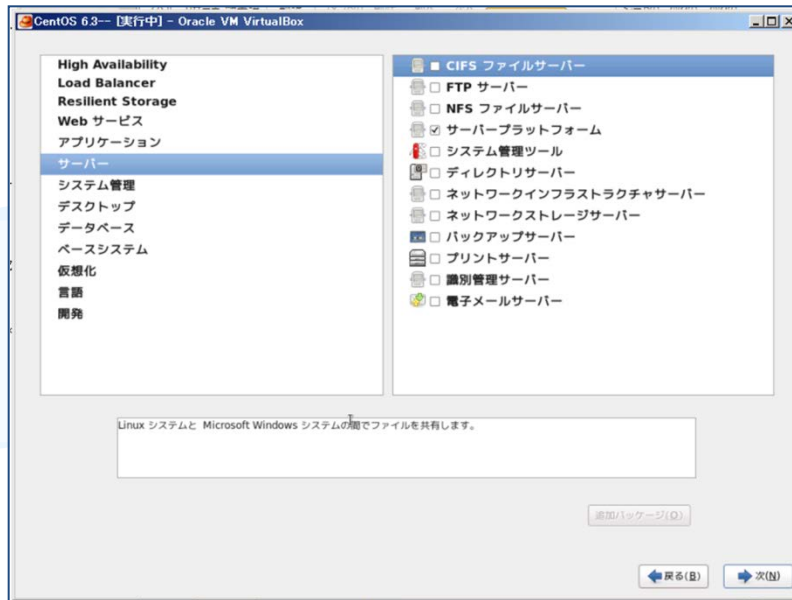


＜アプリケーション＞
[Emacs]にチェックを
入れる

グラフィカルなエディ
タ、必要ではないが、
あった方が便利だっ
たりする。

[インターネットブラウザ]のチェックを確認
[次]をクリック

インストール

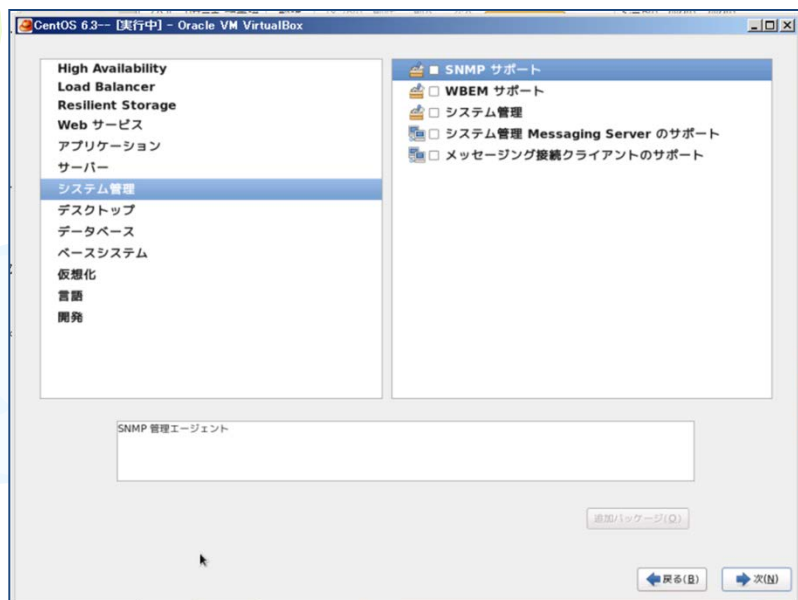


<サーバー>

[サーバプラットフォーム]のチェックを確認

[次]をクリック

インストール



＜システム管理＞

チェックを入れない

[次]をクリック

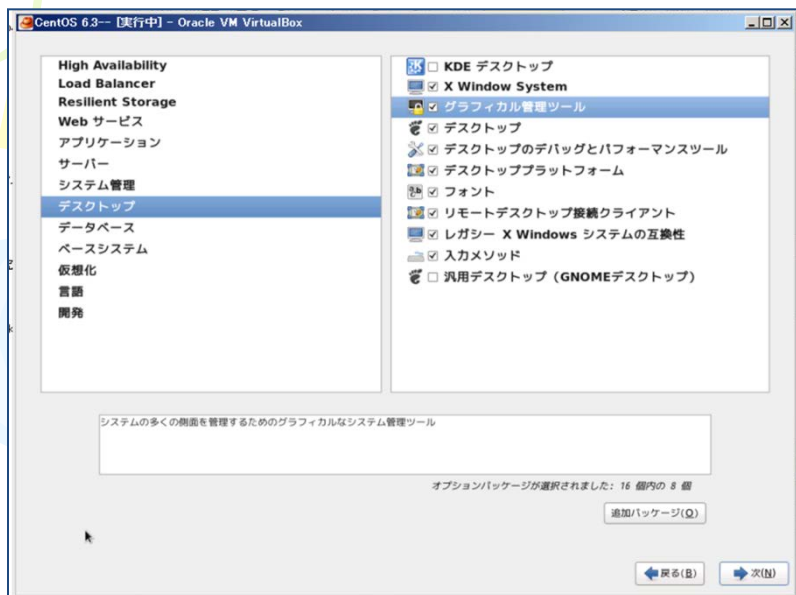
インストール

<デスクトップ>

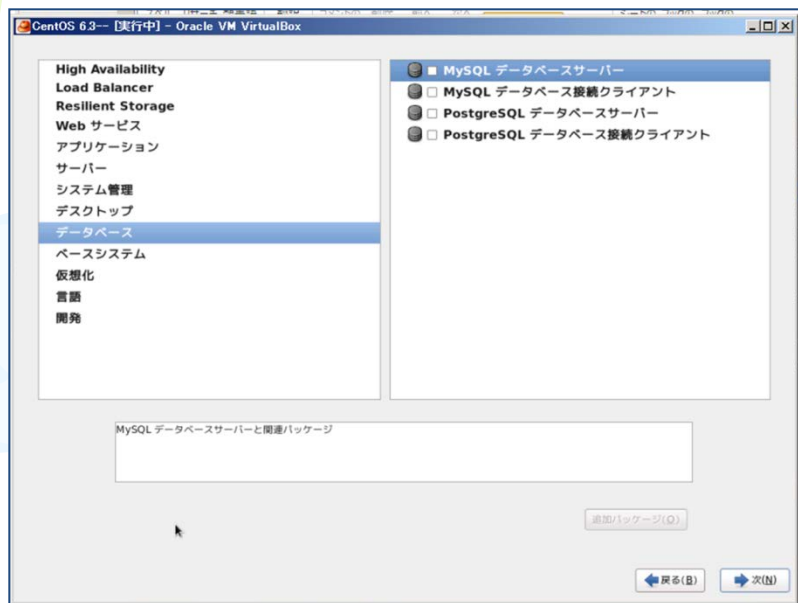
[グラフィカル管理ツール]
にチェックを入れる

設定がGUIでいっから行える

[次]をクリック



インストール



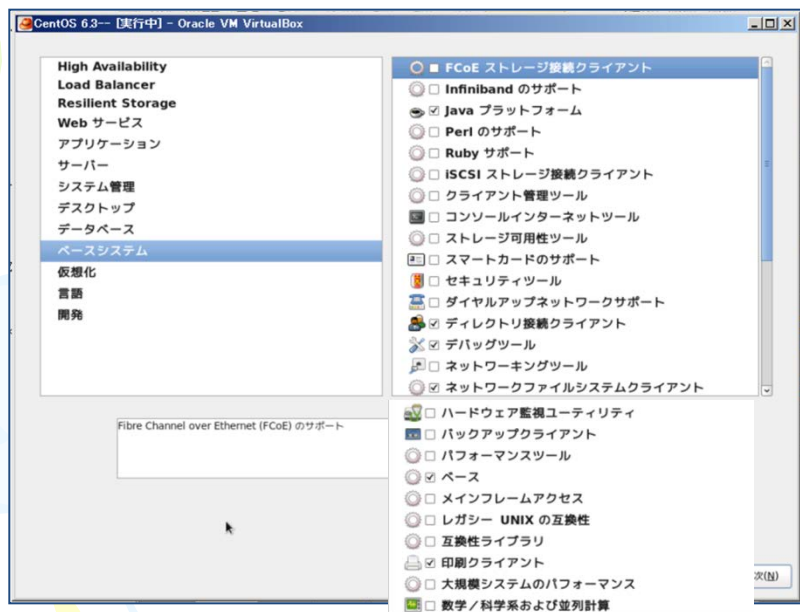
<データベース>

チェックを入れない

後でインストールする

[次]をクリック

インストール



<ベースシステム>

デフォルトでいいが、
チェックを確認する

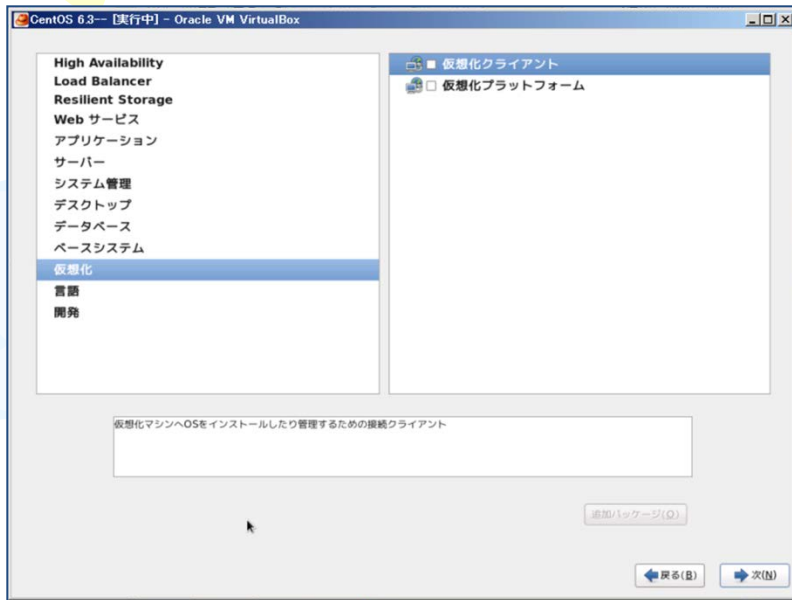
[次]をクリック

インストール

<仮想化>

仮想化は行わない
チェックを入れない

[次]をクリック



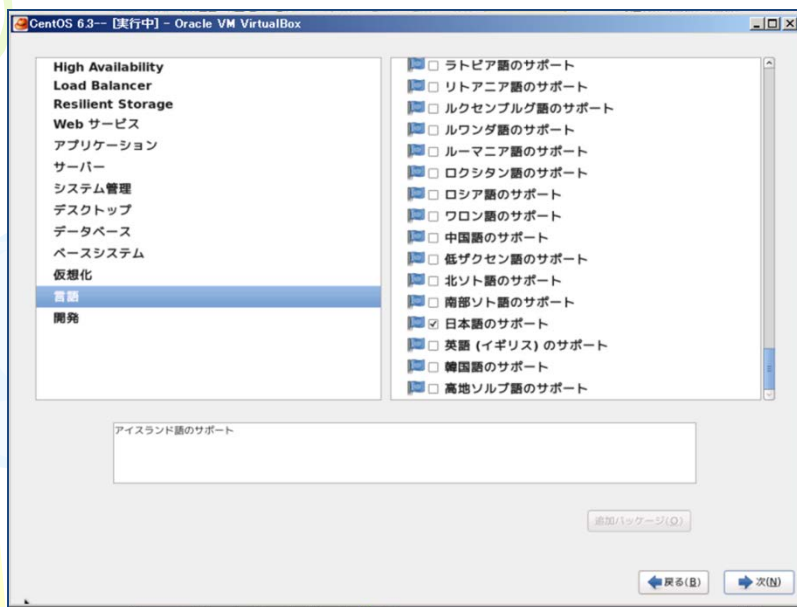
インストール

<言語>

[日本語のサポート]

にチェックがあるか確認

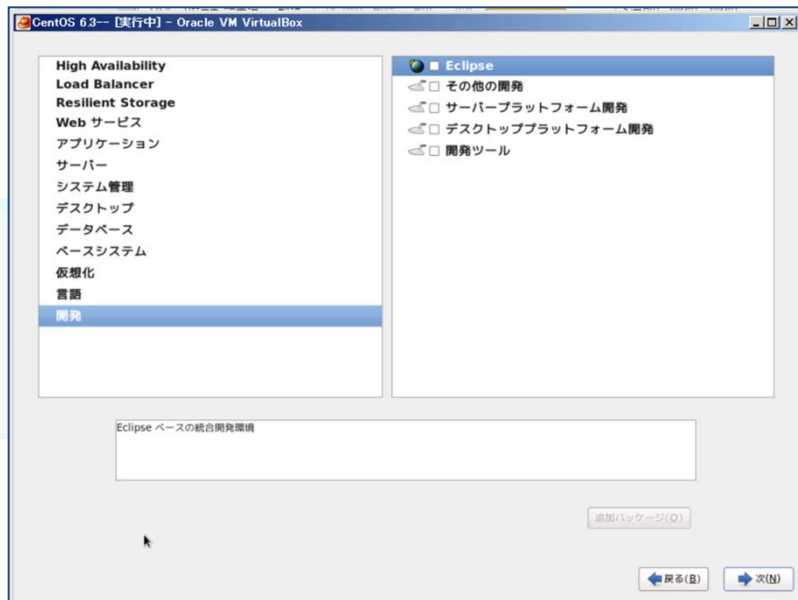
[次]をクリック



インストール

<開発>

チェックを入れない



[次]をクリックするとインストールが開始される

インストール

※CDでインストールする場合は複数枚のCD指示に従い入れ替える

インストールが完了すると再起動を行う

[再起動]をクリック

